

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 規則について

本競技会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会要項・本競技注意事項により実施する。

## 2. 競技場の入退場及び競技者受付について

- (1) 本競技会への来場者は競技者、指導者、および競技者の同伴者（競技者と一緒に来場し、体調管理チェックシートを持参した者）に限定する。なお、同伴者については必要最低限とすること。
- (2) 本競技会に来場する者は全員、東京陸協ホームページより、「体調管理チェックシート」をダウンロードし、記入をしておく。その際、検温については、競技会当日を含む8日間の検温結果を必ず記入すること。
- (3) 競技会出場者は、「保護者同意書」を東京陸協ホームページよりダウンロードし、事前に保護者に記入してもらうこと。
- (4) 会場への競技者、指導者、同伴者の入退場口は2階正面入口エントランスのみとする。
- (5) 開門時刻は各日とも7:40とする。開門前に来場した者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。また、状況により競技者のビブスを受け取る指導者およびその日の第1種目に出場する競技者とその同伴者を優先的に入場させる場合がある。
- (6) 来場者は入場の際に、手指消毒及び検温を行う。
- (7) 入場後、競技者、指導者、同伴者は各自、事前に記入した「体調管理チェックシート」、「保護者同意書」を受付に提出し、リストバンド（競技者・指導者・同伴者、第1日と第2日で色が異なる）を受け取る。「体調管理チェックシート」（及び「保護者同意書」）を提出しない者については入場を認めない。両日とも来場する者は、第1日のリストバンドを提示すれば、第2日に「体調管理チェックシート」等を提出する必要はない。また、アスリートビブス及びプログラムについては、団体ごとに指導者が受け取ること。
- (8) プログラムに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、8時30分、または出場する競技の2時間前までにTICに申し出ること。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (9) プログラムは残部がある場合に限り、TICで販売する。

## 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意

- (1) 体調がよくない場合（例. 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）は来場を見合わせる。
- (2) 以下の事項に該当する場合は、来場及び競技への参加を認めない。
  - ・ 当日の体温が 37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある場合。  
（入場時、非接触での検温を実施する。当日検温で 37.5℃以上の場合は入場を認めない。37.0℃以上の場合は再検査を行う。）
  - ・ 同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある場合。
  - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
  - ・ 大会開催日の3週間前の時点、もしくはそれ以降にPCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合。
- (3) 競技者とその同伴者は出場種目のウォーミングアップ開始に合わせて来場し競技終了後は速やかに帰宅すること。なお、トラック種目とフィールド種目のどちらかにのみ出場する者について

は出場種目のない開催日の来場を認めないものとする。

- (4) 来場にあたっては、マスク・マイタオル、ゴミ袋を持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
- (5) 石けん等を用いた手洗い・手指消毒、洗顔を励行すること。消毒用アルコール、ハンドソープ等はトイレ、更衣室、招集所、競技場所など各所に準備している。
- (6) ウォーミングアップ・招集等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (7) 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- (8) 更衣室の滞在は短時間にする。こと。(シャワールームの使用は禁止する)
- (9) 飲食等の際は感染リスクが高くなる為、短時間・ソーシャルディスタンス・換気の良い場所で行うこと。スタンドでの食事は禁止しないが、他人と会話をせず、正面を向いた姿勢で行うこと。
- (10) 飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- (11) タオル、ペットボトル、コップ、皿、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。
- (12) 本競技会においてゴミ箱の設置は行わない。競技場滞在中に出たゴミはすべて持ち帰ること。  
特に体液の付着したゴミについては十分に注意して取り扱うこと。
- (13) 気候や時間帯による気温の変動に注意するなど、体調管理に万全を期すこと。
- (14) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(東京陸上競技協会)に報告すること。

#### 4. ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場内で行うことができる(競技区域およびスタンド裏のプロムナード(メインスタンド裏を除く)。また、5月4日(火)に限り補助競技場の使用も可能とする。補助競技場においてはボール投げ等の練習も認めるが、事故防止に留意し、競技役員の指示に従うこと。なお、補助競技場でのスパイクの着用は禁止とする。
- (2) 競技区域内に入場できるのは本競技会に参加する競技者および指導者(バックストレート、コーナーなど各エリアに1名)のみに限定する。なお、ウォーミングアップ中も競技者、指導者ともリストバンドを身につけること。
- (3) ウォーミングアップのため競技区域内へ移動する際はスタンド裏の競技場プロムナードの階段を通行してAゲートから入場、ダッグアウト下通路を通過して移動し、終了後はA、Bどちらかのゲートから退場すること。
- (4) ウォーミングアップには周回競技時を除きバックストレートを使用できる。(ハードル練習は、下記参照)必ず指導者1名が監督し、逆走や走路にとどまる等、危険をともなう行為を避けること。また、開催両日とも、9時15分まではホームストレートの使用も可能とする。
- (5) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い(競技運営上、一時的に制限することがある。)、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行うこと。
- (6) ハードルの設置については以下のとおりとする。  
1日目：13：00 ～ 14：30 バックストレート7、8レーン (60mHのみ)  
2日目：11：00 ～ 12：50 バックストレート7、8レーン (80mHのみ)
- (7) 砂場及び芝生他、競技場内の指定された場所以外でのウォーミングアップは禁止する。特にメインスタンド裏プロムナード上でのウォーミングアップは通行スペースの確保と危険防止の観点から厳禁とする。中央広場において投てき物(ボール等)を投げるについても禁止する。
- (8) リレーのバトンパスの練習に使用したマークは終了後、必ず取り外して退場すること。

## 5. 招集について

- (1) 招集所の設置場所は、100mスタート地点後方のAゲート裏とする。招集所へ移動する際はスタンド裏の競技場プロムナードの階段を通行すること。
- (2) 競技者はそのまま競技ができる服装にビブス（ナンバーカード）をつけマスクとリストバンド、必要に応じて防寒着等を着用して集合し、荷物はスパイク（必要な場合のみ）、水筒やペットボトル、タオル、帽子等、最低限にすること。また、マスクは競技を行う際そのまま置いておくことのないよう衣類のポケットやケース、袋等に入れる、他の荷物の中に挟むなど感染症予防に留意し、終了後は直ちに装着すること。また、シューズ袋など類似品の多いものについては記名や目印をつける等、他者の持ちものと取り違えることのないよう、注意すること。なお、トラック競技、フィールド競技とも競技場設備およびスパイクピン保護の観点からスパイクの着脱は競技場で行うこととする。
- (3) 各競技の招集開始・完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。遅れた場合は競技に出場できないので、時刻を厳守すること。
- (4) 代理人による招集は一切認めない。
- (5) 招集所において、競技者系の点呼およびビブス、スパイクピンのチェックを受けること。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー（1枚）を受け取ること。
- (6) リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻60分前までに（タイムテーブル参照）オーダー用紙を競技者係へ提出すること。（オーダー用紙は招集所にて配付。）オーダー用紙の提出が遅れた場合は受理しない。また、一度提出したオーダーは、主催者の任命した医務員の判断が無ければ変更を認めない。
- (7) 指導者および同伴者の招集所への立ち入りは認めない。また、招集所入り口付近の混雑を避けるため特に支障のないかぎり競技者を送り届けた後はその場にとどまらず、直ちにスタンド等へ戻るよう努めること。

## 6. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) 当日、TICにて、アスリートビブス（ナンバーカード）を配付する。競技を行う際に着用するユニフォームまたはTシャツ等の胸と背に、そのままの大きさを四隅を安全ピンでとめてつけること。ただし、跳躍競技の競技者については胸か背のどちらか一方でよい。
- (2) トラック競技出場者には、招集時に腰ナンバー（写真判定のために使用。シールタイプ）を支給する。（リレーは第4走者のみ）右側の腰の高い位置に記載の数字が身体の真横の位置となるよう注意してつけること。

## 7. 更衣室の利用について

- (1) 更衣室の利用は本競技会に出場する競技者のみに限定する。3AB更衣室を男子用、2AB更衣室を女子用とする。
- (2) 更衣室への移動の際はスタンド正面入口に入って左側の階段を利用すること。更衣室から先の屋内廊下を通行することは禁止する。なお、屋内廊下の通行は更衣室を利用する場合を除き競技役員誘導がないかぎり禁止とする。
- (3) 更衣室への付き添いは競技者が1人で移動や更衣ができない場合のみ、1競技者につき1名に限り許可する。更衣室への移動時も競技者、付き添いともマスクおよびリストバンドを必ず身につけること。

## 8. 競技および競技方法について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載のとおりとする。
- (2) 予選のあるトラック競技の決勝のレーン順は記録携帯速報サイトにて発表する。
- (3) 競技しやすい靴をはくこと。素足での出場は認めない。スパイクシューズを使用してもよいが、ピンは全種目全天候性走路用9mm以下を使用すること。
- (4) 50m、60m、60mH、3・4年4×100mR第1走者のスタートはクラウチング、スタンディングのどちらも可能、100m、80mH、5・6年4×100mRの第1走者についてはクラウチング、800mはスタンディングとする。スターティングブロックの使用は男女とも5年、6年100mの決勝のみに限定する。使用する場合はセッティングを速やかに行うこと。
- (5) スタート動作の指示は英語で行う。( " On your marks." 、 " Set." )
- (6) 同一競技者が2回不正スタートした場合は失格とする。ただし、競技には参加させ、記録は参考記録とする。
- (7) ハードル競技は以下の規格により行う。

種目	スタート～ 第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル～ フィニッシュ
60mH	12m	60cm	6m	7台	12m
80mH	13m	70cm	7m	9台	11m

- (8) 800m以外のトラック競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走り他のレーンに入らないよう注意すること。
- (9) 800mのスタートは、オープンで行う。
- (10) 男女混合4×100mRは、5・6年男女各2～3名でエントリーを行いそのうちの男女各2名が出場する。なお、走順は自由とする。
- (11) リレー競技のメンバー編成は申込時のメンバーで構成する（TR24、10は適用しない）。
- (12) リレー競技における第1、第2、第3走者はテイクオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまり、競技役員の指示により走路外に出ること（危険防止のため）。リレーのマークは各チームで用意し、レース後必ず取り外すこと。
- (13) リレーチームはできるだけ同じユニフォームを着用のこと。
- (14) 男女とも800m、60mH、80mH、4×100mRは決勝のみとし、タイムレースで順位を決定する。男女とも1年50m、2年50m、3年60m、4年60m、5年100m、6年100mは予選記録の上位8名を決勝進出者とする。同記録がありレーンが不足するときは、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して1/1000秒で計測し進出者を決定する。それでも決まらないときは抽選を行う。その際は、場内アナウンスにより呼び出しをするのでアナウンス後、速やかに本部に来ること。指定された時刻までに来なかった場合はその権利を放棄したものとす。
- (15) 2種目同時に出場する場合は、最初の種目の招集開始時刻までに競技者係に申し出ること。
- (16) 走高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
男子	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以後、最後の1人になるまで3cmきざみ
女子	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m23	1m26	以後、最後の1人になるまで3cmきざみ

- (17) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。
- (18) 男女とも5年、6年走高跳の第1位決定のためのバーの上げ下げは2cm刻みとする。
- (19) 走幅跳、ジャベリックボール投は3回の試技で順位を決定する。
- (20) ジャベリックボール投はやり投ピットで行い、投てき角度はやり投と同じとする。助走距離は15m以内でスパイクを使用してもよい。ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。
- (21) ジャベリックボール投は、**連続3回の試技**を行う。
- (22) 本競技会で使用する用器具はすべて主催者が用意したものとする。

## 9. 競技区域からの退場について

- (1) 50m、60m、100m、60mH、80mHに出場する競技者およびリレーの第4走者は競技終了後、フィニッシュ地点からトラックの外側の部分（雨天時はダッグアウト下通路）を反時計回りに通行しバックストレート側を通過してスタート地点に戻り、それぞれの荷物を回収してAゲートから退場する。
- (2) 第1走から第3走までのリレー出場者は競技終了後、時計回りにBゲートへと向かい退場する途中でそれぞれの荷物を回収すること。
- (3) 800mについては終了後、荷物を回収してBゲートから退場すること。
- (4) ジャベリックボール投および走幅跳についてはAゲートから、走高跳についてはBゲートから、いずれも競技終了後、競技役員の誘導により退場する。
- (5) 上記(1)～(4)の経路を基本とするが、競技役員の誘導がある場合はこの限りではない。

## 10. 抗議について

抗議はチームの公式な代表者が口頭で該当種目の結果が正式に電光掲示板に発表された時刻から、予選では15分以内、決勝では30分以内にTICにて行うこと。

## 11. 表彰について

各種目の～3位の入賞者については表彰を行い、賞状とメダルを授与するので、該当者は競技結果確定後30分を目安にメインスタンド下ダッグアウト中央付近に集合すること。4～8位についてはTICに賞状を用意する。受け渡し時の密を避けるため、できるだけ各団体の代表者が競技終了から30分後以降にまとめて受け取ること。

## 12. 大会主催者の免責事項について

本大会は競技者及び競技役員に対する団体総合補償（保険）加入している。但し、同伴者と指導者については加入していないので、対象外となる。

【保険会社】 Chubb 損害保険株式会社

【補償内容】 熱中症、食中毒にプラスして今回新型コロナウイルス感染症（判定された場合）を含んだ団体総合補償（保険）へ加入

- ・ 競技者 死亡・行為障害：300万円
- 入院（180日限度）日額：3000円
- 通院（90日限度）日額：2000円

【連絡先】 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-28-3 武井ビル5F  
公益財団法人 東京陸上競技協会 事務局

大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

### 13. 個人情報の取り扱いについて

感染症予防対策を目的として、「体調管理チェックシート」「保護者同意書」を提出していただく。個人情報については、保健所・医療機関等の第三者へ提供、開示することがある。大会終了後より1ヶ月の保管期間をおいた後、大会主催者が適正かつ速やかに廃棄するものとする。

### 14. その他

- (1) 競技中の事故における怪我については、主催者が応急処置を行うが、責任は負わない。
- (2) 貴重品等は各自・各チームにて管理し、盗難・置き引き等に十分注意すること。
- (3) 記録証は1枚300円で発行する。希望者は開催両日とも15時30分までにTICへ申し出ること。
- (4) 届けられた拾得物については、TICにて競技会終了時まで保管する。
- (5) 競技運営システムに支障をきたすことがあるので、競技場内及びその周辺でゲーム機の使用を控えること。
- (6) 大会運営、競技に関する不明な点はTICへ問い合わせること。
- (7) 競技中の助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- (8) 盗難等の防止のため更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置いたままにせず各自が責任を持って管理すること。
- (9) 記録はその都度、アナウンス、電光掲示板及び記録結果携帯速報サイトに発表する。

第23回ジュニア陸上競技・チャレンジカップ東京の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

QRコードもご利用下さい。



競技会コード 21 13 0920

競技場コード 132090

プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属)等があった場合は8時30分(遅くとも出場する競技の2時間前)までに各チームの代表者がTICへ申し出ること。